

アーチェリー会場（夢の島公園）
環境影響評価書案審査意見書と環境影響評価書との関連

主な項目	評価書案審査意見書の内容	審査意見書への対応
生物の生育・ 生息基盤 生物・生態系 緑	計画地内の樹木を公園内で外来種の生育箇所に移植する計画としており、外来種対策に寄与し、適切な生態系の保持につながるとしている。このことから、移植は適切な時期に行い、良好な生育を維持するよう管理に努め、フォローアップ調査で確認すること。	適切な時期の移植、植栽樹木の維持管理計画、フォローアップ調査で確認することを追記した。 (p.43、87、95 参照)
自然との触れ合い活動の場	円形広場及び臨海散策コースの一部がフィールドに改変され、工事中は利用できなくなるなど、自然との触れ合い活動の場に影響が生じるとしている。このことから、事業の実施前より案内看板等で周知するなど、来園者への影響を最小限に抑えること。また、臨海散策コースの工事中の代替路及び改変後のルートについて、具体的に記述すること。	臨海散策コースについては別の観光サービスにより代替機能が確保されることを追記した。 (p.108 参照)
廃棄物	伐採樹木について、更なる利用用途の拡大に向けた検討を行うこと。	一般来園者の通行ルートにおける交通安全対策等を追記した。 (p.109 参照)
エコマテリアル	盛土材等へのエコマテリアルの積極的な利用に努めるとともに、使用状況について確認すること。	盛土材は、他工事の建設発生土の工事間利用を図ることを追記した。 (p.135 参照)
公共交通へのアクセシビリティ 交通安全	周辺地域における工事用車両の走行に当たっては、安全走行の徹底を図ることはもとより、これらの車両が市街地で待機や違法駐車等をすることがないように、運転者への指導を徹底するなど、必要な環境保全措置を講じ、より一層の交通の円滑化及び交通安全の確保に努めること。	一般来園者の通行ルートにおける交通安全対策等を追記した。 (p.145、153 参照)

主な項目	評価書案審査意見書の内容	審査意見書への対応
公共交通へのアクセシビリティ 交通安全 (つづき)	公園内における工事用車両の走行に当たっては、一般来園者の通行ルートと重なる箇所があることから、歩行者及び一般車両の通行の優先を徹底するとともに、交通整理員を適切に配置するなど、必要な環境保全措置を講じること。	工事用車両の市街地での待機や違法駐車等に関する対策を追記した。 (p.145、153 参照)